

～奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり～

「脱炭素社会の実現」を宣言しました!

2050年までに脱炭素社会の実現を目指し、目標に向かって取り組んでいくことを令和5年6月9日の奥出雲町議会6月定例会において宣言いたしました。

奥出雲町脱炭素宣言

奥出雲町は、今から約1300年前に編纂された「出雲国風土記」に良質な鉄の産地と記され、たたら製鉄とともに生きた先人の営みは、永続的に循環させるという、人と自然が織りなす景観と将来にわたって人々に恵みをもたらす持続可能な農業を生み出し、たたら製鉄の砂鉄採取のために切り崩された山々は、荒廃することなく次々と豊潤な棚田に姿を変えてきました。

こうした先人達の取組や優れた景観が評価され平成28年4月に「日本遺産」、平成31年2月に「日本農業遺産」の認定を受けています。近年、地球温暖化を起因とする気温の上昇による真夏日・猛暑日の増加、短時間の大雨の増加など、人類に影響を与える深刻な気候変動が問題となっています。本町においても、先人たちから受け継がれてきた持続可能な農林業や生活、景観に地球温暖化が深刻な影響を与えることが懸念されます。

こうしたことから、本町においては水力・太陽光など再生可能エネルギーの普及、また、ごみの減量化等の取組を進めてまいりました。しかし、地球温暖化はこれからも一層進行するため、私たちの生活は今まで以上に気候変動に脅かされることを一人一人が認識することにも、先人たちから受け継いだこの奥出雲の豊かな自然環境や地域社会を後世に引き継ぐために、さらに取組を強化していく必要があります。

これらを踏まえ、再生可能エネルギーの一層の普及や地域資源の一層の活用と地域内経済の循環を強化し、奥出雲町に関わる全ての皆様とともに、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことを決意し、目標に向かって取り組んでいくことをここに宣言いたします。

2023年6月9日

奥出雲町長

本町における脱炭素社会の実現を目指した取組み(例示)

- 再生可能エネルギーの導入推進
(太陽光・蓄電池・木質バイオマス・水力)
住宅や公共施設に太陽光パネルや薪ストーブなどの再生可能エネルギーを利用する設備の導入を推進します。
- 遊休地等における営農型太陽光発電
(ソーラーシェアリング)検討
農地に支柱を立てて、上部空間に太陽光パネルを設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組です。作物の販売収入に加え、売電による収入により、農業者の収入拡大が期待できます。
- 太陽光発電を利用した歩道融雪設備の導入検討
民間企業と協働し、太陽光を利用して通学路や公共施設周辺の歩道の雪を融かす設備の導入を検討します。
- 環境にやさしい自動車(電気自動車(EV))の導入促進
電気自動車や家庭用充電設備の導入を促進します。また、公共施設への充電設備の導入も促進します。
- 自然と共生した資源循環型林業振興
(保全・整備・木材利用の促進)
町有林を管理し、Jークレジットに活かしたり、木材の製品化を促進します。
- SDGs未来都市の選定
優れたSDGsの取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として国が選定します。この選定に向けて取り組んでいきます。
- 環境教育(木育)の推進
幼少期から木のぬくもりに触れてもらうための機会を創出します。
- 住宅、建築物の省エネ性能向上
(高断熱・高効率設備の導入)
住宅や建築物への高断熱性能や高効率な設備システムの導入を促進します。
- 町有林Jークレジット制度の導入
Jークレジット制度とは、省エネや再生可能エネルギーの利用、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を、「Jークレジット」として国が認証する制度です。町内の森林によるCO2吸収量を「Jークレジット」として販売することを目指します。

全国の皆様からたくさんのお寄せをいただきました

令和4年度奥出雲町ふるさと応援寄附

寄附金額 3億6429万3千円(対前年比2635万6千円減)

寄附件数 1万5598件(対前年比1428件減)

氏名の公表にご了承いただきました方を奥出雲町ホームページにてご紹介しております。たくさんのお寄せをいただき、誠にありがとうございました。

ふるさと納税は、寄附金の使途を指定することができ、令和4年度は左記の事業に活用させていただきます。

人口定住・結婚対策に関する事業

1億539万9千円

住宅整備支援事業、縁結び活動支援事業など

7320万9千円

出産・子育て支援に関する事業など

1億629万1千円

自然環境・環境保全に関する事業

金など

観光振興に関する事業

652万1千円

町内観光施設指定管理料など

教育・文化スポーツ振興に関する事業

4357万2千円

学校教材備品図書等購入費、教育用ICT機器整備事業など

その他事業

1億5459万8千円

避難所用備品整備事業、防災土養成事業など

《活用事業を紹介します》

若年世帯等の住宅整備をサポート



町への移住及び定住を促進するため、若年世帯及び転入者が行う住宅整備に対して補助金を交付しました。(新築工事7件、改修工事8件)

保育料の無償化



国の無償化の対象とならない0～2歳児の保育料を無料にしました。

妊婦健診の交通費を助成



奥出雲病院での分娩の取り扱いを休止したため、町外で妊婦健診を受診する際の交通費を助成して妊産婦の経済的負担の軽減を図ります。

奥出雲町肉用子牛共進会を開催



▲特選賞首席 あさひ号

令和5年度第1回奥出雲町肉用子牛共進会が6月13日に仁多中央家畜集会所で開催されました。この共進会は、和牛改良の成果を競う大会で、畜産経営の発展を目的に年2回開催されており、町内9地区および奥出雲町農業公社から選ばれた27頭の出品牛の個体審査、比較審査が審査員によって行われました。会場には町内の多くの畜産関係者が訪れ、審査の様子を見守っていました。

順位	名号	出品者(地区)
特選賞首席	あさひ	農業公社繁殖育成センター
特選賞2席	ふくふじ	藤田 忠さん(三成)
特選賞3席	ふくえい1	原田 敬子さん(馬木)
特選賞4席	ひので	金倉 弘美さん(阿井)
特選賞5席	しげはるざくら6	藤原 武則さん(馬木)
特選賞6席	のりひさ	和泉 芳邦さん(横田)
特選賞7席	ふくのまい	佐藤 安則さん(亀嵩)
特選賞8席	やどゆりみつ	佐藤 治巳さん(亀嵩)